

# 第37回 うつのみやこども賞だより

## 令和2年度 7回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

## 『ハジメテヒラク』

こまつ あやこ／著（講談社）



令和2年12月6日

うつのみやしとしょかん  
Utsunomiya city library

### ～読んだ本の感想より～

- 脳内実況であみの気持ちが分かるから、お話をスラスラ読みすすめて面白かった。
- あみが頭の中でやっていた実況を、人の前で勇気を出してやっていて、私にはできないからすごいなと思った。
- 登場人物がはじめて他人に心をひらくところがいいなと思った。
- あみが言った、「三本それぞれのちがいが魅力なんです」という言葉が心に残った。面白かった。
- 主人公のまわりの人たちがみんなとてもいい人たちで、とてもほほえましく、たくさんこの本から学ぶことができました。

### 『スイマー』

高田 由紀子／著（ポプラ社）

- 自分自身も航たちとおよいでいるようなかんかくなった。
- プールがなくなってしまうと聞き、海人が落ち込んでいる時の航の大奮闘がすごいと思った。
- 4人でドリームプールを守っていくという決意がすごいなと思いました。
- 水泳は一人じゃなくて、チームプレーで、チームプレーがどれほど大切ですごいか分かった。
- 仲間たちの熱い友情やスイミングにたいする情熱が伝わってきた。

### 『ギフト、ぼくの場合』

今井 恭子／作（小学館）

- 貧困についてもっと考えるべきだと思った。
- この本を読んで、困っている人たちを助けたいと思いました。また、主人公が家の事情をかかえ、友だちにも助けられながら成長していくので、とても楽しめました。
- びょうしゃひとつひとつがきれいだった。
- 第4章“分け合うドーナツ”が印象に残っています。言葉が出ませんでした。優太くんが一番辛かっただろうなあとすごく切ない気持ちになりました。

### 『てっぺんの上』

イノウエ ミホコ／著（文研出版）

- エナがレオと会ってから、少しずつかわっていくところがすき。
- エナのちじょう生活を見て、最初少しときどきしました。
- とてもおもしろかったです。つらい環境から幸せになる人の話をよむと、心があたたかくなって、ああ私もがんばろう！と思えます。
- エナはお母さんにきらわれているわけではなくて、「エナ」という名前にもちゃんと意味があることが分かったとき、感動した。